

No	29									
指標名	急性心筋梗塞急性期PCI実施患者死亡率									
定義	<p>(分子)分母のうち、14日以内に死亡した患者数 (分母)急性心筋梗塞患者における急性期PCIを施行した患者数 ※死亡原因が急性心筋梗塞によるもののみとする。</p>									
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院</th> <th>全国中央値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年度</td> <td>3.3%</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>3.2%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2016年度、2017年度における当院のデータ (全国)2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院	全国中央値	2016年度	3.3%	3.1%	2017年度	3.2%	3.4%
年度	当院	全国中央値								
2016年度	3.3%	3.1%								
2017年度	3.2%	3.4%								
コメント (解説)	<p>当院では救命救急センターを併設しているため、ショックや心停止後の急性心筋梗塞患者が愛媛県で最も多く搬送されております。 そのため、PCIに成功しても全身状態が悪く救命できない症例があります。 そのような重症例が多いにもかかわらず低い死亡率であり、急性期の再灌流治療の質の高さを示しているデータです。</p>									